

VI 猛禽類に関する用語

営巣中心域:

営巣木および古巣周辺で、営巣に適した林相をもつ1まとまりの区域。給餌食物の解体場所、ねぐら、監視のためのとまり場所、巣外育雛期に幼鳥が利用する場所を含む。一般には営巣地と呼ばれる。

行動圏:

ある時点で猛禽類が利用している範囲のこと。最外郭行動圏として描かれることが多い。最外郭行動圏とは、猛禽類が利用した地点の最外郭を凹部がないように結んだ範囲のこと。

95%行動圏:

行動圏のうち、巣から離れていて、かつ相対的出現値が低いものから5%を削除した範囲の最外郭を結んだ範囲を指す。

高利用域:

採食場所、主要な飛行経路、とまり場所などを含む行動圏の中でも利用頻度の高い地域。95%行動圏のうち平均よりも利用頻度が高い範囲の最外郭を結んだ範囲を指す。

ディスプレイフライト:

なわばりの占有を宣言するためや、求愛のために行なう特殊な飛翔。波型に飛行したり、急降下したり、8の字を描くように飛んだり、種によって異なる。

全長:

嘴の先から尾の先までの長さ

翼開長:

翼を開いた状態での右の翼から左の翼までの長さ